

朝倉 由希 准教授  
博士(学術)

Yuki Asakura

✉ yuki.asakura@komatsu-u.ac.jp

研究  
Keyword

芸術文化を支える仕組みのあり方、芸術文化の多様な価値と評価、文化資源と地域づくり

## プロフィール

2009年 東京藝術大学大学院 音楽研究科 応用音楽学 博士後期課程 修了  
 2009年 東京藝術大学アートリエゾンセンター 学術研究員  
 2017年 文化庁地域文化創生本部 総括・政策研究グループ 研究官  
 2021年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授

## 研究分野

文化政策 / アートマネジメント

## 所属学協会

文化経済学会(日本)、日本文化政策学会、日本アートマネジメント学会、日本音楽芸術マネジメント学会

## 専門分野・研究分野

## 社会的財産としての文化

文化とは、音楽、美術といった芸術文化や、文化財、暮らしに根付いた風習や習慣、生活文化まで、たいへん幅広いものが含まれますが、そのどれもが、人間が創り出し、過去からつないできた社会的財産です。その価値は目に見えにくく数値化しにくいものであるため見過ごされがちですが、例えば人々をつなぐ、発想の源泉となる、創造性を育む、多様な価値観を認め合う土壌を作る、独自性ある資源として地域発展に寄与するなど、多様な意義を持っており、社会基盤として重要なものです。文化が持つ多様な価値を、真に豊かな社会づくりに活かすための仕組みを探索しています。

## 研究内容

人が生きる基盤として文化をとらえ  
大きな文化政策を構想する

文化政策の予算や仕組み、文化の役割や位置づけの違いについて、諸外国の比較研究を行ってきました。各国で歴史や背景が違うため、単純に比較することは適しませんが、世界の動向を把握し、日本の状況を相対的にとらえることにより、より良いあり方を検討することは有効です。また、自治体の文化に関する計画や指針作りにも携っており、文化財や文化施設と観光について提言することが増えています。近年の文化政策に関する議論では、文化が福祉や観光、教育等へも幅広く寄与するものであり、連携を深めようという考え方が示されています。そのことは従来狭く認識されすぎてきた文化の役割を広く位置付けるものではありませんが、「文化が他領域に役に立つから重要」と近視眼的にとらえるのではなく、人が生きる基盤であるという認識を形成していくことが必要です。文化は本来、生き方そのものや社会づくりに関わる、あらゆる領域の基層であるにとらえ、文化政策の議論の枠組みを広げる挑戦を、「新しい文化政策プロジェクト(代表者:京都大学佐野真由子教授)」において多彩な研究者、実践者とともに取り組んでいるところです(図参照)。



図1、図2.公開フォーラム「新しい文化政策の構築をめざして」(2019年12月7日) 撮影:廣井駿介

文化を基盤とした  
真に豊かな社会を築くために

## シーズ・地域連携テーマ例

- 国の文化政策の動向
- 自治体の文化政策
- 文化を活かした地域づくり

## 論文

- 「日本における在留外国人を対象とした文化政策の現状と課題」 関鎖京, 朝倉由希, 南田明美, 北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編72 (1), pp.95-110, 2021年8月
- コロナ禍と国の文化芸術支援—文化芸術活動の継続支援事業を中心に—, 朝倉由希, 文化経済学18巻第1号pp.12-16, 2021年3月

## 書籍等出版物

- 『ヘリテージマネジメント：地域を変える文化遺産の活かし方』 松本茂章, 中川幾郎, 南博史, 高岡伸一, 朝倉由希, 信藤勇一, 高島知佐子, 森屋雅幸, 西村仁志, 石本東生, 藤野一夫, 学芸出版社, 2022年
- 『はじまりのアートマネジメント』 松本茂章, 高島知佐子, 松森隆一, 太田幸治, 志村聖子, 朝倉由希, 伊東正示, 李知映, 長津結一郎, 武濤京子, 佐藤良子, 水曜社, 2021年
- 『文化で地域をデザインする—社会の課題と文化をつなぐ現場から—』 松本茂章, 土屋隆英, 西村仁志, 朝倉由希, 池上重弘, 高島知佐子, 川本直義, 大澤苑美, 西村和代, 長津結一郎, 森口ゆたか, 学芸出版社, 2020年

## 講演・口頭発表等

- 文化政策のこれからを考える—日・英・米・仏・独・韓の文化政策の国際比較から—, 朝倉由希, 菅野幸子, 作田知樹, 秋野有紀, 長嶋由紀子, 関鎖京, 日本文化政策学会第17回年次研究大会, 2024年3月
- A Comparative Study of Cultural Policies of Six Countries during the COVID-19 Period (コロナ禍における6か国の文化政策の国際比較研究), 朝倉由希, 秋野有紀, 12th International Conference on Cultural Policy Research (University of Antwerp), 2022年9月
- 在留外国人のための文化政策 日本の現状, 朝倉由希, 九州大学アジアウィーク2021「在留外国人のための文化政策と都市—日本およびアジア諸国の事例比較から」, 2021年10月
- 在留外国人を対象とした文化政策の現状と課題, 朝倉由希, 関鎖京, 南田明美, 日本文化政策学会第14回研究大会, 2021年3月

## 競争的資金等の研究課題

- 地方自治体文化政策におけるエコシステム形成に向けた検討(代表), 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C), 2022年4月—2025年3月

## 社会貢献活動

- 文化庁 文化芸術推進基本計画(第2期)指標検討のための有識者会議委員(2023年度)
- 福井県 文化振興プラン策定委員(委員長)(2023年度)
- 福井市 文化財保存活用地域計画策定委員(委員長)(2023年—)
- 文化経済学会<日本>理事(2022年—)
- 日本文化政策学会 理事(2019年—)